

科学研究費助成事業（科学研究費補助金）研究成果報告書

平成25年6月1日現在

機関番号：32636

研究種目：基盤研究（B）

研究期間：2010～2012

課題番号：22320013

研究課題名（和文） 漢魏文化の国際的研究

研究課題名（英文） The international research of Han and Wei culture

研究代表者

渡邊 義浩（WATANABE YOSHIHIRO）

大東文化大学・文学部・教授

研究者番号：40241400

研究成果の概要（和文）：

漢魏文化の国際的研究を行い、『魏晉南北朝における貴族制の形成と三教・文学』を刊行し、『中国新出土資料学の展開』を2013年8月に刊行する予定である。後者は、新出土資料についての情報提供、読解・解釈・実証などの基礎的な工作に加えて、将来の両国、ひいては世界における中国出土資料研究のさらなる発展を図るために、出土資料研究について今後に残された課題を明確に意識することを目指して行われたものである。

研究成果の概要（英文）：

Publish the results of my research ; The Formation of Aristocratic Society in the Wei, Chin, and Northern and Southern Dynasties Period and the Three Teachings and Literature In Collaboration with History, the History of Thought, and Literature ; Developments in study of Newly Unearthed Chinese Documents. In the letterp, in addition to the basic tasks of providing information about newly unearthed documents, deciphering and interpreting them, and conducting evidential research on them, this forum was held with the aim of gaining a clear awareness of issues remaining for the future in the study of unearthed Chinese documents so as to ensure the further growth of reserch on these documents in China and Japan and also around the world.

交付決定額

（金額単位：円）

	直接経費	間接経費	合計
2010年度	3,700,000	1,110,000	4,810,000
2011年度	4,200,000	1,260,000	5,460,000
2012年度	5,600,000	1,680,000	7,280,000
年度			
年度			
総計	13,500,000	4,050,000	17,550,000

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：哲学・中国哲学

キーワード：漢・魏・貴族制・儒教・道教・仏教・文学

1. 研究開始当初の背景

漢魏交代期は、かつて中国史学において「時代区分」論争の焦点となったように、春秋戦国・唐宋・明末清初と並ぶ、中国の大き

な変革期の一つである。思想史より見れば、後漢までの「儒教一尊」の価値観が崩壊して、道教・仏教および玄学・史学・文学と儒教・儒学との兼修が行われたことに特徴を持つ。

従来、こうした重要性を持つ漢魏期の文化が、総合的、かつ国際的に研究されたことは稀であった。

2. 研究の目的

本研究は、近年、進展著しい中国の研究、なかでもその中心である中国社会科学院歴史研究所、とりわけ思想史研究室との共同研究により、国際的な視角から新たなる漢魏文化の在り方を構築したものである。

3. 研究の方法

散佚して久しかった晉律の注の新発見と、中国における新出土資料を利用することにより、従来との異なる漢魏文化像を描き出したことは、重要な方法論である。

4. 研究成果

日中間に止まらず、韓国などとも国際学会を行い、多くの研究論文を公表したが、それらの成果は、『魏晉南北朝における貴族制の形成と三教・文学』『中国新出資料学の展開』という2冊の本に代表される。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 23 件)

- ①渡邊義浩「揚雄の「劇秦美新」と賦の正統化」(『大東文化大学漢学会誌』52、2013年、29～49頁、査読無)
- ②渡邊義浩「郭象の『莊子注』と貴族制—魏晉期における玄学の展開と君主権力」(『六朝学術学会報』13、2012年、17～31頁、査読有)
- ③渡邊義浩「王莽の経済政策と『周礼』」(『大東文化大学漢学会誌』51、2012年、163～183頁、査読無)
- ④渡邊義浩「王莽の官制と統治政策」(『東洋研究』183、2012年、71～91頁、査読有)
- ⑤渡邊義浩「陸機の文賦と「文学」の自立」(『中国文化—教育と研究』71、2012年、1～20頁、査読有)
- ⑥渡邊義浩「西晉的五等爵と貴族制的確立」(『中日学者中国古代史論壇論文集』3、2012年、査読無)
- ⑦三浦國雄「『朱子語類』の読まれ方—新発田藩の一儒者の書き入れを巡って」(『東洋学』123、2012年、71～91頁、査読有)
- ⑧仙石知子「毛宗崗本『三國志演義』における養子の表現」(『日本中国学会報』63、2012年、123～142頁、査読有)
- ⑨渡邊義浩「『三國志』東夷伝 倭人の条に現れた世界観と国際関係」(『三國志研究』6、2011年、33～48頁、査読有)
- ⑩渡邊義浩「「古典中国」の形成と王莽」(『中国—社会と文化』26、2011年、4～18頁、

査読有)

- ⑪渡邊義浩「死而後已—諸葛亮の漢代的精神」(『諸葛亮与三国文化』四川科学技术出版社、2011年、234～253頁、査読無)
- ⑫渡邊義浩「王莽の革命と古文学」(『東洋研究』179、2011年、35～60頁、査読有)
- ⑬池澤優 Observing Chinese Excavated Materials from a Perspective of Life and Death Studies: “Image Reversal of the Dead” during the Zhanguo, Qin, and Han periods ; Bulletin of Death and Life Studies Vol.7 2011 (査読有)
- ⑭池田知久「『老子』の儒教に對する批判—郭店『老子』第十八章の「仁義」批判をめぐって」(『大東文化大学紀要』人文科学 49、2011年、73～121頁、査読無)
- ⑮大上正美「ふたりの武帝と表現者たち—古代中国の皇帝権力と文学」(『国家と言語』青山学院大学総合研究所叢書、2011年、43～71頁、査読無)
- ⑯渡邊義浩「陸機の「封建」論と貴族制」(『日本中国学会報』62、2010年、30～43頁、査読有)
- ⑰渡邊義浩「中国貴族制と「封建」」(『東洋史研究』69-1、2010年、1～28頁、査読有)
- ⑱渡邊義浩「陸機の君主観と「弔魏武帝文」」(『大東文化大学漢学会誌』49、2010年、28～52頁、査読無)
- ⑲渡邊義浩「“史”的自立—以魏晉時期“別傳”流行爲中心」(『第一屆中日学者中国古代史論壇論文集』、中国社会科学出版社、2010年、175～212頁、査読無)
- ⑳池田知久「《老子》對於儒學的批判——以郭店《老子》第十八章的「仁義」批判爲中心」(『宗教哲學』53、2010年、39～59頁、査読無)
- ㉑大上正美「庾信論覚え書き(二)—「擬詠懷詩」の方法について」(『青山学院大学文学部紀要』52、2010年、21～38頁、査読無)
- ㉒池澤優 Observing Chinese Excavated Materials from a Perspective of Life and Death Studies: “Image Reversal of the Dead” during the Zhanguo, Qin, and Han periods Bulletin of Death and Life Studies vol7 2010. (査読有)
- ㉓三浦國雄「上総道学と新発田藩学の交流—『朱子語類』訓門人巻を中心に」(『大東文化大学漢学会誌』50、2010年、21～49頁、査読無)

[学会発表] (計 18 件)

- ①大上正美 司馬昭と竹林の七賢 三國志学会第七回大会 2012年9月8日、龍谷大学(京都)
- ②渡邊義浩 三國時代の国際関係 三國志学会一般講演会 2012年9月1日、二松学

舎大学

- ③池澤優 中国出土資料と宗教研究 第四回日中学者中国古代史論壇 2012年5月25日、日本教育会館(東京)
- ④渡邊義浩 西晉的五等爵制と貴族制の確立 第三屆中日學者中国古代史論壇 2011年9月18日、武漢大學珞珈山莊(中國)
- ⑤渡邊義浩 現代日本における『三国志』の伝承と享受 三国志 의전승과 향유 國際學術會議 2010年11月29日 韓國學中央研究院(韓國ソウル)
- ⑥三浦國雄 上総道學と新發田藩學の交流—『朱子語類』訓門人卷を中心に 國際シンポジウム「東アジアの伝統教育と講學—韓国・日本・中国」 2010年11月26日、関西大学(大阪)
- ⑦池澤優 「儒教的生命倫理」における“伝統”—Juria Tao ed., China: Bioethics, Trust, and the Challenge of the Market (2008)を題材として 東京大学文学部 GCOE プログラム「死生学の展開」・成均館大学校共催日韓國際學術會議「東アジアの死生学へ」2010年11月20日、成均館大学校(韓國ソウル)
- ⑧大上正美 方法としての自虐—庾信「擬詠懷詩」再読 中国文化学会(2010年度例会) 2010年9月18日、大妻女子大学(東京)
- ⑨池田知久 《老子》對於儒學的批判——以郭店《老子》十八章的“仁義”批判為中心 2010年9月11日、復旦大學(中國)
- ⑩稀代麻也子 劉楨—「文學」の「感」 三国志學會第5回大會、2010年9月11日、二松學舎大學(東京)
- ⑪池田知久 郭店《老子》對於《大學》“八條目”的批判 2010'洛陽老子文化國際論壇 2010年9月9日、東山賓館(中國)
- ⑫池田知久 孔子的宗教批判——從孔子開始的“禮”的世俗化 中国社会科学院哲學研究所講演會 2010年9月7日、中国社会科学院(中國)
- ⑬池田知久 郭店楚簡『老子』の主要思想「北大漢簡老子与道家哲學」國際學術研討會、2010年9月6日、北京大學哲學系(中國)
- ⑭池澤優 Many Coexisting Gods, or One God with Many Names?: the Representation of the Supreme Deity in Ancient China 國際シンポジウム“Monotheism Characteristics in Asian Religions” 2010年8月30日、東京大學(東京)
- ⑮池澤優 The acceptance of the concept of “person” and the tradition of Confucianism in modern China: through bioethical discourses as modern religiousness XXth Quinquennial World

Congress of International Association for the History of Religions 2010年8月20日、University of Toronto, Canada (Canada)

- ⑯三浦國雄 術數學の基本認識 人文韓國事業團第7回HK Workshop 2010年8月11日、ソウル大學奎章閣韓國學研究院(韓國)
- ⑰渡邊義浩 「古典古代」の形成と王莽 中国社会文化学会 2011年度大會 2010年7月11日、東京大學(東京)
- ⑱池田知久 《老子》對於儒學的批判——以郭店《老子》十八章的“仁義”批判為中心 第10回「宗教文化与区域文化」學術研討會 2010年7月4日 湖南賓館(中國)

〔図書〕(計24件)

- ①渡邊義浩(編)『中国新出資料学の展開』(汲古書院、2013年刊行確定、1~300頁)
- ②渡邊義浩(主編)『全譯後漢書 祭祀志』(汲古書院、2013年、1~195頁)
- ③渡邊義浩・高橋康浩(編)『晉書校補 帝紀(一)』(大東文化大學東洋研究所、2013年、1~277頁)
- ④渡邊義浩(主編)『全譯後漢書 五行志』(汲古書院、2012年、1~310頁)
- ⑤渡邊義浩『「三国志」の政治と思想』(講談社、2012年、1~282頁)
- ⑥渡邊義浩『王莽 改革者の孤独』(大修館書店、2012年、1~178頁)
- ⑦大上正美『六朝文學が要請する視座—曹植・陶淵明・庾信』(研文出版、2012年、1~425頁)
- ⑧渡邊義浩(編)『魏晉南北朝における貴族制の形成と三教・文學』(汲古書院、2011年、1~330頁)
- ⑨渡邊義浩(著)、金容天(訳)、후한유교국가의성립, 동과서, 2011, pp. 1~371
- ⑩渡邊義浩(主編)『全譯後漢書 列傳(三)』(汲古書院、2011年、1~741頁)
- ⑪渡邊義浩『関羽一神になった「三国志」の英雄』(筑摩書房、2011年、1~237頁)
- ⑫渡邊義浩(監訳)『曹操墓の真相』(科学出版社東京、2011年、1~308頁)
- ⑬池田知久『郭店楚簡老子的新研究』(汲古書院、2011年、1~549頁)
- ⑭仙石知子『明清小説における女性像の研究』(汲古書院、2011頁、1~309頁)
- ⑮渡邊義浩『西晉「儒教國家」と貴族制』(汲古書院、2010年、1~621頁)
- ⑯渡邊義浩『中国と儒教—「二千年の正統思想」の起源』(講談社、2010年、1~261頁)
- ⑰渡邊義浩『三国志—演義から正史、そして史実へ』(中央公論新社、2010年、1~229頁)
- ⑱渡邊義浩『諸葛孔明伝—その虚と実』(新

- 人物往来社、2010年、1～318頁)
- ⑱渡邊義浩・仙石知子『「三国志」の女性たち』(山川出版社、2010年、1～214頁)
- ⑳渡邊義浩(著)、林文娟(訳)『34位三國志軍師小辞典』(商周出版(台北)、2010年、1～330頁)
- ㉑方旭東・曹峰・池田知久(共編)『日本学者論中国哲学史』(華東師範大学出版社、2010年、1～319頁)
- ㉒三浦國雄『朱子伝』(平凡社、2010年、1～354頁)
- ㉓三浦國雄『易経』(角川書店、2010年、1～250頁)
- ㉔石井仁『魏の武帝 曹操』(新人物往来社、2010年、1～352頁)

6. 研究組織

(1) 研究代表者

渡邊 義浩 (WATANABE YOSHIHIRO)
大東文化大学・文学部・教授
研究者番号：40241400

(2) 研究分担者

大上 正美 (OHGAMI MASAMI)
青山学院大学・文学部・教授
研究者番号：00042705

辛 賢 (SIN HYEON)
大阪大学・文学研究科・講師
研究者番号：70379220

稀代 麻也子 (KISHIRO MAYAKO)
筑波大学・人文社会科学研究科・准教授
研究者番号：80431659

池澤 優 (IKEZAWA MASARU)
東京大学・人文社会系研究科・教授
研究者番号：90250993

小島 毅 (KOJIMA TSUYOSHI)
東京大学・人文社会系研究科・教授
研究者番号：90195719
(2012年度 研究分担者)

竹下 悦子 (TAKESITA ETSUKO)
二松学舎大学・文学部・教授
研究者番号：80227016
(2012年度 研究分担者)

高橋 康浩 (TAKAHASHI YASUHIRO)
大東文化大学・文学部・特任講師
研究者番号：60597160
(2012年度 研究分担者)

安藤 信廣 (ANDO NOBUHIRO)
東京女子大学・現代教養学部・教授
研究者番号：60130746
(2012年度 研究分担者)

池田 知久 (IKEDA TOMOHISA)
大東文化大学・文学部・教授
研究者番号：50036555

(2010年度～2011年度 研究分担者)

三浦 國雄 (MIURA KUNIO)
大東文化大学・文学部・教授
研究者番号：60027555
(2010年度～2011年度 研究分担者)

仙石 知子 (SENGOKU TOMOKO)
二松学舎大学・文学部・非常勤講師
研究者番号：60513637
(2011年度 研究分担者)

石井 仁 (ISHII HITOSHI)
駒澤大学・文学部・准教授
研究者番号：90201912
(2010年度～2011年度 研究分担者)

堀池 信夫 (HORIIKE NOBUO)
筑波大学・人文社会科学研究科・教授
研究者番号：10091927
(2010年度 研究分担者)